

KVBC役員に聞く1年間

KVBC新役員でスタートしてから1年が経ちました。今月は例会がなかったため、KVBC役員の皆様に1年を振り返って、役員をされてきた感想と、残りの1年の任期をどのようにしていきたいか抱負などをお話いただきました。(順不同)

- (1) 1年間役員をされてみていかがでしたか？
 (2) 残り1年の任期をどのようにしていきたいとお考えですか？

●(株)ユニシス 藤関治清氏

- (1) 前代表幹事からの推薦もありましたが、これからの2年間本当に務まるのか心配でしたが、副代表幹事を中心に4つの役割分担を明確にさせていただき、それぞれの立場で運営/企画をしていただき感謝いたしております。
- (2) 会員企業間での交流をもっとできればと思っていましたが、今後は例会テーマなど考えていきたい。この件に関しては今年から軽飲食での車座形式での例会を取り入れ意見交換の場としていますが、これをさらに盛り上げていきたい。また、会員の皆さんのKVBCですから、例会などに参加され、どしどし意見を頂戴したいと思います。よりよいKVBCにしていこうではありませんか？ご協力よろしくお願い申し上げます。

●(株)和光舎 西谷謙二氏

- (1) 出席するだけの役員でしかなく反省。正副代表会議の内容をもう少し早く知りたい。
- (2) ラストスパート、積極的に参画したい。「ものづくり」の会員をもう少し本体の方に参加させたい。

●アド・プロヴィジョン(株) 河合康博氏

- (1) 代表幹事を中心に副および幹事全員が、かなり本気でそれぞれの役割を果たしたと思います。
- (2) 私自身は、企画広報という役割を与えられましたが、総会・展示会、情報化推進、広報PRなど、担当幹事の方々のご協力を得て、さらに残り1年を頑張りたいと考えています。

●CSK関西システム(株) 池田昭氏

- (1) ものづくり研究会も含めて、機会が増えたぶん知り合いが多くなり、色々な考え方を体験しています。
- (2) 交流会を担当していますので、皆様に参加していただける企画を立案していきます。

●(株)ケルクセキュリティシステム 仲良二氏

- (1) アグレッシブなクラブを目指した活動をしたつもりですが、私事多忙のために十分な企画ができなかったように思います。
- (2) おもしろく楽しい企画を立案したいと思います。

●日貴電子(株) 日比昌孝氏

- (1) 至らない点が多くありますが、KVBC運営に携わられていろいろ良い経験をさせてもらっています。
- (2) 残り1年となりましたので、正副代表幹事と一般幹事との交流を一層深めて将来のバトンタッチにつなげていきたいと思っています。

●(株)エスケイショップ 清水隆二氏

- (1) 幹事の役割はずいぶん楽しかったが、代表および副代表幹事の方は大変御苦労だったのではと思います。
- (2) 普通の会合ではない「爽やかさ」とか、「刺激的」とかを追求し、少しでも今のビジネスに役立つような会合にしていきたい。

●アーク・テクノロジー(株) 有川晴彦氏

- (1) 皆さんで多用のなか、会の運営に頑張っておられて、とても良い刺激になりました。役員の皆様とも親睦がはかれて楽しいことばかりでした。
- (2) ネット化推進や、知性連合との交流など、私の担当させて頂いておりますテーマに肅々と取り組まさせて頂き、微力ながら会のお役に立てればと願っています。

●(株)アルファ・プリント社 中村史門氏

- (1) 大したお役は受けておりませんが、全体の把握ができておりませんが、クラブ全体がまだまだぬるま湯につかっている感があります。今や、世の中ベンチャー、ベンチャーと言われており、更なる意識を持ち、もっと活躍の機会を広げようと思います。
- (2) VENTURE BUSINESSを旗印とする以上、今日において少なくとも、韓国だけではなく台湾のITにも目を向けてはどうか？時流を読むのも大切でしょう。機会をとらえて、KVBCの存在を広く一般にPRし、会員を増やし、もって、活気ある組織として発展させたいと思います。

●(株)京都インテリジェンスサーチ 吉村賢氏

- (1) あっという間の1年でした。当初は役員という響きから、大変な役を引き受けたと思っていましたが、役員会に出席するくらいで、何も大した仕事ができなかったと感じています。
- (2) KVBCのこれからの理念をしっかりと考え、それに見合った戦略を長期間(5~10年)で、打ち立てていきたい。KVBCは京都市主催のクラブなので、つぶれることはないと思うが、このままではこれ以上の発展はしないと思うので、しっかりとやっていきたい。

企業の根幹、ものづくりを追求

ものづくり研究会第7期総会



第一部定期総会の様子

5月18日(金)、ホテル京阪京都で第7期「ものづくり研究会」定期総会が開催されました。

第1部の総会は、研究会事務局関義一氏(京都技研工業(株))から開会の辞、研究会代表大橋正明氏(マイクロニクス(株))の挨拶に続いて、井手邦彦氏(洛陽技研(株))の12年度の事業報告と山中泰宏氏((株)旭テクノプロデュース)の会計報告、川端克裕氏(大洋エレクトクス(株))の会計監査報告がそれぞれ行われました。報告が承認された後は、京都の企業発展に向けたみやこめっせ5周年記念事業参加について、方針などが活発に議論されました。

また13年度の役員選出については立候補者がいなかったため、満場一致で、現役員が継続することとなりました。

第2部の懇親会は、第1部同様に研究会事務局関義一氏(京都技研工業(株))の開会の辞によって始まり、研究会代表大橋正明氏(マイクロニクス(株))、KVBC代表幹事藤関治清氏、京都市産業観光局商工部長石田達氏、KVBCカウンセラー西河勝男氏、産業振興課係長馬屋原宏氏(KVBC事務局)、同じく産業振興課廣瀬彰則氏の挨拶と続きました。板東流師範板東三志美さんらの祝舞が披露された後、フィリピン歌手MAIさん・RITAさん・MARIさんによる歌謡ショーが行われました。

またカラオケ発表会では、歌に合わせて会場が一体となって踊ったり、デュエットする姿も見られ、大変盛り上がりしました。最後はものづくり研究会応援歌を合唱し、大盛況のなか一本締めで幕を閉じました。